



# 福岡市で暮らすムスリムのための 包括的な日本語教育体制整備

文化庁日本語教育研究協議会(熊本)

深江 新太郎

2014年10月4日

# 本報告の中心となる風景

平成24年度文化庁委託事業「生活者としての」外国人のための  
日本語教育事業「ムスリムのためのサバイバル日本語講座」



# 福岡市の在住外国人概況

- 外国人登録者数

24,920人(2012年12月末)

- 在留資格別構成比

留学33.3%(全国平均8.9%)

- 福岡市東区

7,594人(福岡市7区で最も多い)

九州大学箱崎キャンパス

# 福岡市のイスラム教徒

- 福岡モスク(以下, 福岡マスジド)  
福岡市東区箱崎に2009年4月開堂  
礼拝堂,教育施設
- イスラム教徒(以下, ムスリム)の人数  
約1,500人(福岡マスジドの調査)
- ムスリムの国籍  
インドネシア,マレーシア,バングラデシュ, エジプト,  
など

# 福岡マスジドの風景1

## 集団礼拝



# 福岡マスジドの風景2

聖典コーランの講座(こどもたち)



# ムスリムの抱えた固有の問題

- ムスリム固有の生活習慣

  - 豚肉,アルコールは口にできない

  - 1日5回の礼拝が必要

  - 人前で出してはいけない体の部位がある など

- 日常場面で問題が顕在化

  - スーパーで買い物をする時,原材料が不明

  - であれば買うことができない など

# 文化庁委託事業

- 平成23年度

ムスリムのためのサバイバル日本語講座  
(受講生18名,授業総時間数68時間)

- 平成24年度

ムスリムのためのサバイバル日本語講座  
(受講生26名,授業総時間数100時間)

# 文化庁委託事業 授業風景1

平成23年度



# 文化庁委託事業 授業風景2

平成24年度



# ムスリムのための場面シラバス

- ムスリム固有の困難な状況を基にする

(例) レストランで原材料が分からない  
断食期間中に食事に誘われる  
旅館に家族風呂があるか分からない  
うどんのトッピングは別がいい など

# ムスリムのための場面シラバス 例1

話題	場面	困難な状況	発話行為	発話例
食事	うどん屋 でメニューを 見ながら 天ぷら定食を頼む	天つゆの しょうゆにア ルコールが 入っていたら 食べられない	しょうゆにア ルコールが 入っていないか 尋ね、 入っていたら 塩を頼む	天つゆのしょうゆに アルコールが入っ ていますか。 塩をお願いします。

## ムスリムのための場面シラバス 例2

話題	場面	困難な状況	発話行為	発話例
旅行	旅館に電話して、予約する	人前で出せない部位があるため、大勢の人とお風呂の入ることができない	旅館の人に家族風呂があるか尋ねる	すみません。〇〇旅館ですか。予約したいんですが、家族風呂はありますか。

# 授業展開例

場面：うどん屋で天ぷら定食を頼む

構成	内容
(1) 話題への導入	レストランに行った経験をおしゃべりする 交流型の活動
(2) 場面の生教材	実際のメニューで語彙を学ぶ 場面の提示
(3) 困難な状況で 会話作成	天ぷら定食を頼む会話を作成 文型(表現)を学ぶ 困難な状況の提示

# 基本的な理念

- 「生活者としての」外国人＝社会的に行為する者

- (1) 福岡市で生活するムスリム

- (2) 文化庁委託事業

「ムスリムのためのサバイバル日本語講座」

- (3) (1)は(2)を通して生活環境を拓くことができる

# 文化庁委託事業からの自立

- 平成25年度

福岡市国際部主催「日本語ボランティア養成講座」

（受託：福岡日本語ボランティア養成共同事業体）

講座監修,講師

- 平成26年度

同上 講座監修,講師

「福岡マスジドボランティア教室」開講

# 福岡 Masjid ボランティア教室

• 2014年4月～6月

- 場所 : 福岡 Masjid
- クラス : 午前クラス(初級)と夜クラス(初級)
- 回数 : 1回90分 × 週2回
- 講師 : 6名(国籍 日本)
- 受講生 : 午前クラス9名, 午後クラス12名
- 国籍 : インドネシア, マレーシア, エジプト など

# 福岡マスジドボランティア教室風景1

午前クラス



# 福岡マスジドボランティア教室風景2

夜クラス



# 課題 福岡 Masjid ボランティア教室

- 困難な状況が「一般化」されたこと

ムスリムの行動規範は個人差があるが  
その個人差が忘れられて「一般化」され  
「全てのムスリムにあてはまる」困難な  
状況という前提で教室活動が準備された

# 課題 福岡 Masjid ボランティア教室

- 困難な状況が「一般化」された例

(1) 話題: 健康

(2) 場面: 病院で処方箋をもらう

(3) 困難な状況: 動物性の原材料の薬は飲めない

全てのムスリムが飲めないわけではない

# 課題 福岡 Masjid ボランティア教室

- 教室活動を「私とあなた」に戻すこと

その一人の人(ムスリム)と講師の関係から  
その一人の人(ムスリム)の困難な状況を  
聞き,そこで本当に言いたいことを導く必要が  
ある(先行事例の困難な状況を参照して)

# 福岡マスジドボランティア教室の今後

- 2014年10月～2015年3月 ボランティア講師4名

マンツーマン(私とあなたという関係)から再出発

# 謝辞

- 九州大学大学院 統合新領域学府（2009年 開学）

報告者は第1期生

「実践のただ中で理論を探しそれで実践を創る」  
ことに挑戦

本報告の実践はこの知的挑戦と共に生まれました